

平成 29 年度

財務書類の公表

統一的な基準

**観音寺市**

# 観音寺市平成 29 年度決算の財務書類

## 統一的な基準に基づく財務書類の作成について

観音寺市では、平成28年度決算からは「統一的な基準に基づく財務書類（以後統一モデル財務書類と言います）」の作成方式を導入しています。

今年度は、平成29年度決算の統一モデル財務書類の4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）を作成しましたので、その報告を行います。

## 財務書類とは

### ①貸借対照表

貸借対照表（バランスシート）は、会計年度末に観音寺市が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目するこれまでの決算書では表示することができなかった財産や負債等、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

### ②行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得（土地や建物の購入等）に関わらない経常的な支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。

### ③純資産変動計算書

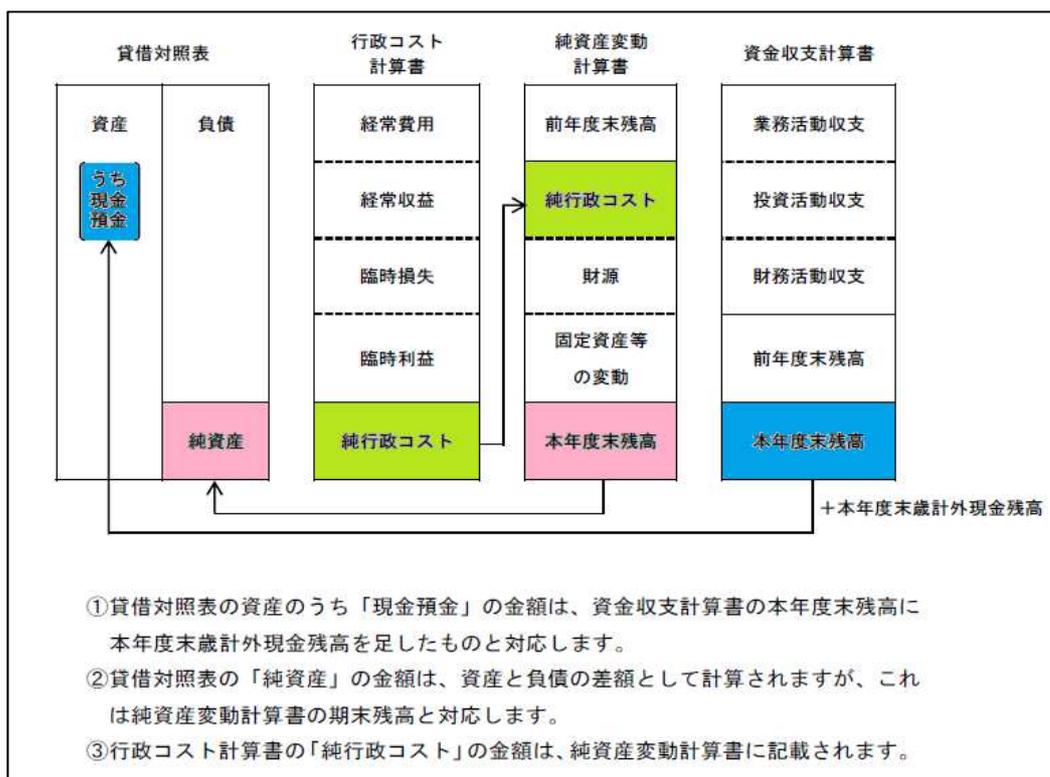
貸借対照表の純資産の部について、増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入（税収や国・県からの補助金等）があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純経常行政コストや災害復旧等で臨時的に必要なとなった支出等が計上されます。

### ④資金収支計算書

貸借対照表の現金預金が1年間でどのように変化したのかを表しています。現金の使いみちによって「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかを示しています。

## 財務書類4表構成の相互関係

統一モデルによる財務書類4表の相互関係は下図のとおりです。本市の財務書類についても下図の相互関係が確認できています。



# 観音寺市平成 29 年度決算の一般会計財務書類

## 貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表（バランスシート）は、平成 30 年 3 月 31 日時点で観音寺市が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目する従来の決算書では把握することができなかった、観音寺市の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

科目		科目	
金額	金額	金額	金額
(単位:千円)			
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	82,408,197	固定負債	38,239,964
有形固定資産	76,294,418	地方債	34,988,439
事業用資産	53,326,926	長期未払金	-
インフラ資産	22,478,123	退職手当引当金	3,229,427
物品	489,369	その他	22,098
無形固定資産	328,988	流動負債	3,323,878
投資その他の資産	5,784,791	1年内償還予定地方債	2,981,386
流動資産	4,236,219	賞与等引当金	232,496
現金預金	1,106,028	預り金	91,734
未収金	134,331	その他	18,263
短期貸付金	-	負債合計	41,563,843
基金	3,012,451	<b>【純資産の部】</b>	
徴収不能引当金	△ 16,591	固定資産等形成分	85,420,648
		余剰分(不足分)	△ 40,340,075
		純資産合計	45,080,573
資産合計	86,644,416	負債及び純資産合計	86,644,416

### 有形固定資産・無形固定資産

道路や学校など、観音寺市が保有する公共施設の総額

### 投資等

特定の目的で積立てた基金や出資金の総額

### 流動資産

現金預金や現金化しやすい未収金等の総額

### 負債

地方債の残高や退職手当引当金などの総額  
将来世代が負担する金額

### 純資産

道路や学校等の整備の財源として受けた国や県からの補助金や地方税などの総額  
これまでの世代が負担してきた金額

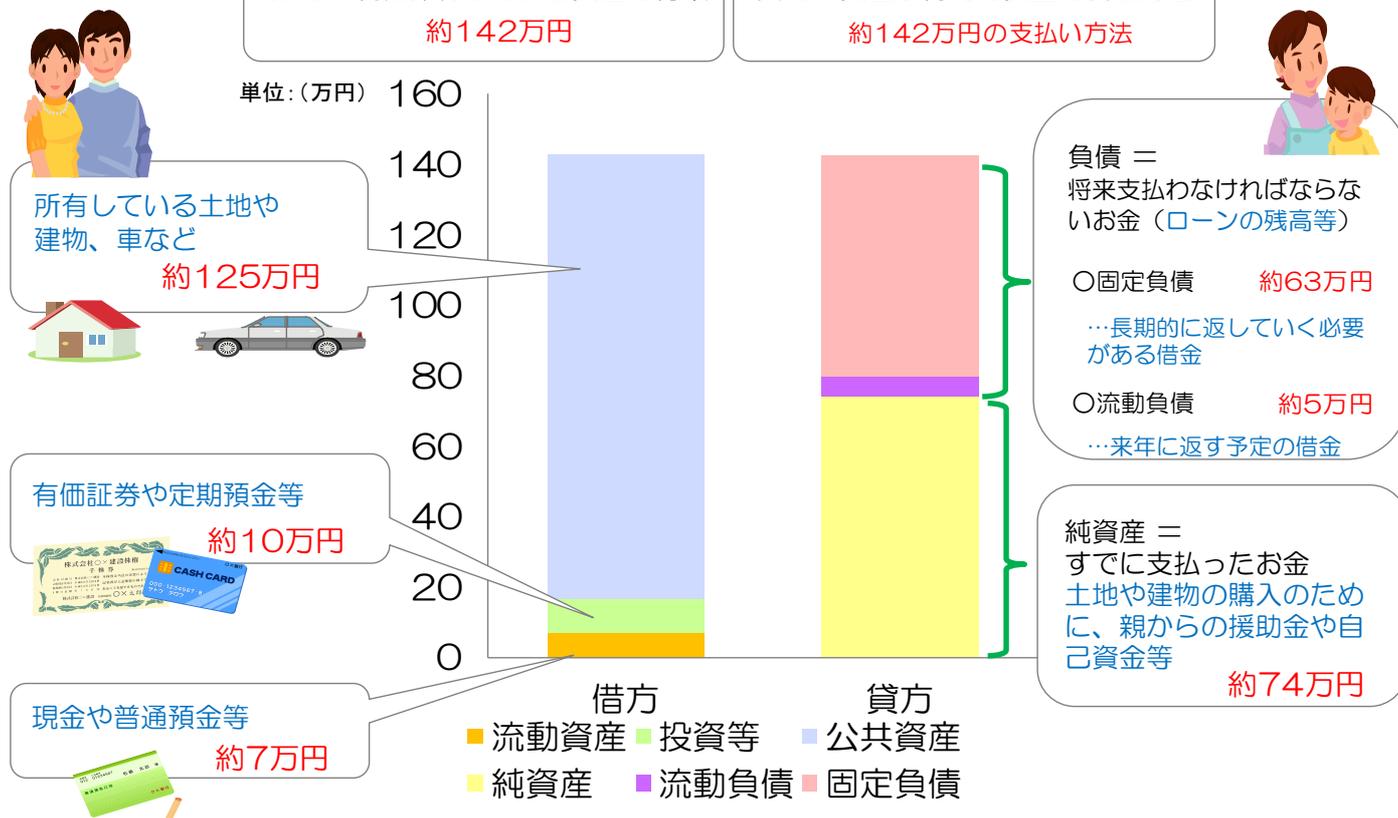
※表中の数値は千円未満を四捨五入しているため、合計額が合わない場合があります。

## 貸借対照表を住民一人当たりの家計簿に置き換えると・・・

### 貸借対照表を住民1人あたりに換算すると・・・

借方＝現在保有している資産の総額  
約142万円

貸方＝資産取得時の資金の調達方法  
約142万円の支払い方法



人口 (60,842人) は、平成30年3月末のものを使用しています。

## 行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得（土地や建物の購入）に関わらない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。行政コスト計算書上の収入には、行政サービスの直接的な対価のみを計上しているため、純行政コストがマイナスで表示されます。

(単位:千円)

科目	金額
<b>経常費用</b>	21,746,001
業務費用	11,028,507
人件費	4,085,390
物件費等	6,247,909
その他の業務費用	695,208
移転費用	10,717,494
補助金等	4,966,343
社会保障給付	3,244,398
他会計への繰出金	2,412,464
その他	94,289
<b>経常収益</b>	1,082,221
使用料及び手数料	423,844
その他	658,377
<b>純経常行政コスト</b>	20,663,780
<b>臨時損失</b>	52,798
<b>臨時利益</b>	38,057
<b>純行政コスト</b>	20,678,521

### 人件費

職員給与のほかに、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額が計上されています。

### 物件費

物件費のほかに、施設の維持修繕費や減価償却費が計上されています。

### その他の業務費用

支払利息、貸付金、火災保険料等が計上されています。

### 移転費用

移転費用には、社会保障給付や他会計への繰出金、補助金等が計上されています。

### 経常収益

行政サービスの直接対価である使用料や手数料、財産貸付収入、現金利子、雑入などが計上されています。

## 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。純資産の増加要因には、行政サービスの対価として支払われる以外の収入（税収や国・県からの補助金等）があり、減少要因には、行政コスト計算書で算出される純経常行政コストや災害復旧等で臨時的に必要な支出等があります。

(単位:千円)

科目	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)
前年度末純資産残高	43,550,368	84,386,439	△ 40,836,071
<b>純行政コスト(△)</b>	△ 20,678,521		△ 20,678,521
<b>財源</b>	20,986,998		20,986,998
税収等	16,588,891		16,588,891
国県等補助金	4,398,107		4,398,107
<b>本年度差額</b>	308,478		308,478
<b>固定資産等の変動(内部変動)</b>		72,120	△ 72,120
有形固定資産等の増加		2,494,890	△ 2,494,890
有形固定資産等の減少		△ 2,068,617	2,068,617
貸付金・基金等の増加		687,682	△ 687,682
貸付金・基金等の減少		△ 1,041,835	1,041,835
<b>資産評価差額</b>	-	-	
<b>無償所管換等</b>	△ 119,364	△ 119,364	
<b>その他</b>	1,341,091	1,081,453	259,639
<b>本年度純資産変動額</b>	1,530,205	1,034,209	495,996
<b>本年度末純資産残高</b>	45,080,573	85,420,648	△ 40,340,075

## 資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを示しています。現金の使いみちにより、3つの区分に分け、どのような行政活動にいくらか使ったのかが分かります。

(単位:千円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	19,453,890
業務収入	21,052,486
臨時支出	5,389
臨時収入	350,642
<b>業務活動収支</b>	1,943,850
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	2,834,600
投資活動収入	1,531,333
<b>投資活動収支</b>	△ 1,303,267
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	2,822,714
財務活動収入	2,673,600
<b>財務活動収支</b>	△ 149,114
<b>本年度資金収支額</b>	491,468
前年度末資金残高	522,826
本年度末資金残高	1,014,294
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	91,734
<b>本年度末現金預金残高</b>	1,106,028

### 業務活動収支

行政サービスを行う中で、毎年継続的に収入・支出される金額が集計されています。

### 投資活動収支

学校、道路等の公共施設の投資活動収支や、貸付金などの収入・支出の金額が集計されています。

### 財務活動収支

地方債等の借入・償還等の金額が集計されています。